

# かたちをかえる滝（たき）



栃木（とちぎ）県日光市にある観光名所、華巖の滝（けごんのたき）。

中禅寺湖（ちゅうぜんじこ）から流れ落ちる滝は、落差97メートル。  
とちゅうにさえぎる岩などがいないので、まっすぐに大谷（だいや）川へ落ちる様ははく力満点です。

1986年10月24日、滝のようすが急に変わってしまいました。

## 今の滝（たき）

滝の落ち口付近の岩がごっそりとくずれ落ちたのです。落ちた岩の大きさは、およそはば30メートル、高さ20メートル、学校のプールくらいの大きさでしょうか。滝の落ち口はつねに水の流れにさらされています。つまり、水のけずる働きが積もり積もって岩をもけずり落としたのです。

華巖の滝ができてからおよそ2万年のあいだに、滝の水は800メートルほどの岩をけずったと考えられていますが、それは1年間でおおよそ4センチメートルというペースです。速いのかおそいのかよくわからないようなきぼですが、今、この時にも岩はけずられ続けているのです。



岩がくずれる前の滝（たき）



岩がくずれた後の滝（たき）